東北 男 3 万	200		=== 1		未計Ш衣(千					7/11/0	14 kr	- T-//tr	7.51	
事業コード	809		課コード	0704	会	計種別	一般会計			予算の)種類 ■	■政策 □経常	□なし	
1. 事業の概要(PLAN)	_	T					ı	_						
	①事業名	基本事業 公園維	持管理 バリアフリー化推進				実施計画への 位置づけ	•	有 〇無	(②部課名	都市部・公園緑地課		
	③事業主体	●市 Oそ	の他()	④対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐 ■全市		
(1)事業概要	⑤事業期間		平成	28年度 ~ 平成30年度	⑥担当職員数	(当 初)	3 人(当初) 42,187 千			(換算人数 0.25 人) (うち人件費 2,200 千円)				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円	千円			当該 (開始) 年度 (変更後)		千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策	62101	重点プロジェクト への位置づけ	重点 2		基本計画地区別計画への位置づ		有 ●無		部門別計画への 位置づけ (計画名)			
(2)目的	施策目的・			に残る貴重な樹林地や城跡、古墳が					公園とするため、道	 				
(2) 日的	展開方向	利用できるよう公	園のバリアフリー化	一部の区域において公園の整備を を進めるとともに、主要公園にお よう出入口や園路等のバリアフリー	ける遊具の充実を図り、子	どもたち		- 布佐南公園(カバリアフリール‐	T車を宇体訟	計に其づき実施す	· Z		
			適正な維持管理を行		過る人別	当該年度	・布佐南公園のバリアフリー化工事を実施設計に基づき実施する。 ・事業を行うにあたっては、公共施設等適正管理推進事業債を活用する。							
(3)事業内容	内容						執行計画							
							当該年度	布佐南公園の	バリアフリー化工	想知	定値 1			
							活動結果指標					単位 件 実約		
(4)達成目標(期待する成果) 当該年度	市民が安全かつ安	· ・心して利用できる公		標(期待する成果) 園のバリアフリー整備をする。			指標種類 直接	バリアフリーイ	指 化修繕工事による!	標 央適な大規模	公園数	単位 (5)現況(値 (6)目標値 10 12	
令和 2年度	市民が安全かつ安	心して利用できる公	園として、大規模公	園のバリアフリー整備をする。			直接	バリアフリーイ	化修繕工事による!	央適な大規模	公園数	箇所	12	
令和 3年度	市民が安全かつ安	心して利用できる公	園として、大規模公	園のバリアフリー整備をする。			直接	バリアフリーイ	比修繕工事による性	央適な大規模	公園数	箇所	12	
(7)事業実施上の課題と対応	公園利用者が子ど となっている。	も中心から高齢者の	憩いの場としての利	用も増えてきているため、段差解	消などのバリアフリー化か	より必要	代替案検討	0	有 ●無					
		平成30年度			平成31年度				和 2年度		$\overline{\mathbf{T}}$	令和 3年度		
	政策	内 容	金額(千円)	+ :	予算額(千円	決算額	i(千円) 政策	内 容	1	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		バリアフリー整備工事 リアフリー整備工事		★			バリ	アフリー未実施公園	園の調査		0 バリアフリ	一未実施公園の調査	C	
	* 工事に係る資料	ァッ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	696	* 便所新築工事監理業務委託	50									
実施内容														
(8) 施行事項 費 用														
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合 計 50 %	35, 777 13, 000		39, 98	7	補助率	合 計	0 %		0 0 a 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	合 計 0%	0	
県支出金	補助率	0 % 90 %	15, 400	補助率		0	補助率	ž.	0 % 0 %		0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	0	
(9) 財源内訳 -般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口その他		□特会 □受益 □基金 □		0		持会 口受益 口基金	全 □その他			□受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等 換算人数(人) 正職員人件費 嘱託職員報酬額			0. 25 2, 200		0. 2 2, 20					0. 2 2, 20			0. 25 2, 200	
嗎式報員報酬報 臨時職員賃金額 事業費(予算(決算)額+正職員人件對			37. 977			0					0		0 2, 200	
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)		37,977千円/件	07, 07.	42, 187千円	,	,				2,20	•		2, 200	
2. 事業の評価(DO+CHE	CK)													
評価項目				前評価			~		価(評価結果に	芯じ、改善案	検討(拡充も含む	;))	改善検討	
(1)事業が今必要である理由	よう適正な維持管		よう出人口や園路等	·のバリアフリー化の修繕工事を行り	い、快適な大規模公園とな		①事前確認での想定どおり ②事前確認での想定どおりでなかった							
背景は?(事業の必要性)						<想	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							
		NPO、市民団体等で		<その他の内容>				O、市民団体等でI		た <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由>		
要	口提供主	で市が実施すること 体が市しかない	が定められている				1②市が主導で進めなければ実効性がなかった 1③市が先導役となったことで市民へ普及が一層 促進された							
性 (2) 市が実施する必要性は	□その他	! る市が推進すべきでよ	5.A	<その他の内容>	促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された									
あるか? (市実施の必要性)	(理由) 口市が主	:導で進めることによ !施・提供することに	り実効性が得られる			供給基盤が確保さ	h <i>t</i> =				〇要 〇不要			
	口市が支	スが保証される 援することにより政	策・施策の目標の			< ~	その他の内容>							
	実現が □その他	「図られる !					中华上土产	カ科のロエニー・	5 /P4^/					
	○①事業計画時/·	参加・協働の内容に市民の参画有り	7	工夫の具体	的な内容			協働の具体的な内容 考えられる場合には		○①当生	参加・協の期待した以上	働の程度・内容		
参加・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	〇②事業実施時に									0②当社	初期待したはより 初期待したとおり 初の期待以下			
市民の参加や市民との協働:協 工夫しているか?働 (体制づくり)	を ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で	的な活動と連携してい	N 3									全国 全国 全国 全国 全国 全国 全国 といった 原 とり かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょう しゅうしゅう しゅう	O要 O不要	
協 工夫しているか? (体制づくり) エ夫して	●⑥その他													
	<その他の内容> 該当なし													
		配慮の視点		取組む	內容		実施	施した具体的な内容	\$	200-		竟への配慮		
環境	□①自然環境を生 □②生き物と共存 □③手賀沼を意詞	存している									きどおり きどおりでなかった	te		
境 気 切 いるか? 配 慮		咸に貢献している								<想定ど	〇 要 〇 不要			
慮	<その他の内容>					\dashv								
		して使用する砕石は	、再生材を使用する											
	現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇所)		目標値の妥当性のチェッータ・事実に基づき設定している	7	宇纽	達成状	達成率(%)	〇①目標値達成 〇②目標値未達					
(1)目標設定は適切か?	10	12	□③現況値との差	実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。				(f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成		成となった原因>		○要○不要	
	1125	L 7 = = = = = = = = = = = = = = = = = =	□④適当な比較対 同等の水準で		○日候値(と規況値の差)。	=			○○○相中古豊井	+ 学		# O NO		
	対策実施によ 事業費(c)(千円)			実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本の活用		宝經	実施状 賃値(g)(千円)	対事業費(%)	対事業費(%) ○②概ね想定事業		〇①事前の想:			
効 _率 (2)事業費削減の工夫をして		(千円) △4, 210	□②現有体制での□③維持管理費の□④民間委託			20,19		(g/c) × 100	5.2.2.2.8			定どおりでなかった		
性		削減率(%)	□ □ ④ 民間委託 <削減の内容>			<超	過理由等>		1		_ 〜湿足とおり削 	減できなかった原因>	〇要 〇不要	
	Δ1	11. 09												
		目標値対事業費(e)		計算方法	法		達成状	況	○①目標値以上		 標値以上となった	理由/目標値以下であった	た原因>	
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?		単位 費用単位 ①①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 ● ②複数年度の指標:(日標値→現収値)×費用単位/東書						対目標値(%) (h/e)×100	○②目標値と同 ○③目標値以下					
(目標対費用)	0	箇所	10万円			(11/6/ ~ 100					〇不要			
3. 事後評価														
〇現状どおり推進 〇拡き	充 ○縮小	〇結合 〇休止 評価	〇廃止 コメント	〇事業手法見直し 〇その他(事業完了など)				改善策	及び展開方向]			
評						_								
価					I									

事業コード	716		部	課コード		0602		会計種別	一般会	計			予算の	D種類 ■	■政策	□経常	ロなし
1. 事業の概要(PLAN)																	
	① 市 世名	基本事業							実施計	画への		± 0./m		(a) ±17 = 11	7:th =0. ±0	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	①事業名	個別事業	駅構内バリフ	アフリー施設等の	の整備・支援					<u>t</u> づけ	•	有 〇無		②部課名	建設部・ダ	火 囲詸	
	③事業主体	●市	○その他	()	4)対象地		□我孫子	□天王台	口湖北	口新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要	⑤事業期間		~					⑥担当職	.貝奴	(当 初) 25,424 =			5 人 (換算人数 		0.73 人) 6,424 千円)		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		4	45,010 千円				当該(開	始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策		63403	1	重点プロジェクト	重点	2		画地区別		有 ●無		部門別計画への	(計画名)		
	の旭泉の位置ラバ	1-1-	マ 朴 油 仁 町 九			への位置づけ				位置づけ			T# the state	位置づけ		+ 7 = 1 = ED	t 11 m + 7 A / .
(2)目的	施策目的 · 展開方向	ー・エスカ	レーターを言	設置するとともに	に、我孫子駅とま		整備し、駅南口・北 由通路の整備を検討			目的		道(株)が実施する!! 句上及び安全に繋が		アフリー化・安全	対策を支援	することで、駅を	を利用する多くの
	ARINDO I-S		<u>レベーターの</u> のバリアフリ	の設置を支援しま リー化	ます。						4月~3月 非	我孫子駅構内エレ/	ベーター実施	設計業務(J R実	(施)		
		・駅ホームに負担金等)を		ターが無い我孫子	子駅について、東	東日本旅客鉄道(株))東京支社と協議し	、必要な支援		年度		※協定締結の上、ず			要となる経済	費を負担(支援)	する。
(3)事業内容	 内容	〇我孫子・ま	天王台駅の7	ホームドア設置支		が数准士フナー / し	ドマに明して 古垣	Λ+:+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	執行	計画	,),ii =17	正洲人队の代刊			
の事業内費	l h #	・駅利用者の転落防止のため、東日本旅客鉄道 (株) が整備するホームドアに関して、支援 る。						の刀及で探削す			71:77 7 ED -	~ _ _ , , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , 	K 11t →	ET			
										年度 課指標	我孫士駅フツ: 	チ内EV実施設計議	≛ 按 学		単位	並 % 超定値 実績値	
(4)達成目標(期待する成果)					票(期待する成果)	<u>!</u>)				種類			標		単位		(6)目標値
当該年度	我孫子駅ラッチ内	EV基本設計	進捗率						直	接	当該年度設計	進 抄率			%	100	10
	我孫子駅ラッチ内	EV等工事進	捗率						直		当該年度工事	進 抄率			%		10
令和 3年度	我孫子駅ラッチ内	EV等工事進	捗率						·	[接	当該年度工事				%		10
1711 0 T/X	我孫子駅構内のE	V設置につい	ては、市民の	の多くが求めるも	ものであることだ	から、自由通路整備	備計画と切り離し、	JR東日本と協		118			T				1
(7)事業実施上の課題と対応	カし、先行して整 援を検討していく		検討している	く。また、我孫子	子駅・天王台駅の	のホームドアに関し	しては、整備後の効	果を考慮し、支	代替到	案検討	0	有●無					
	, C XB1 O C U · \	。 平成30年	丰度			<u> </u>	平成31年度					和 2年度			令:	和 3年度	
	政策	内 容		金額(千円)	政策	内 容	予算額	j(千円) 決算額	頁(千円) 政	女	内容	3	金額(千円)) 政策	内容		金額(千円)
	*: 我孫子駅構內二		等設備設置	7 666	* 我孫子駅構 * 実施設計負	情内エレベーター等 知会		19, 000			沢構内エレベー: 旦金:未定	ター等設備設置		0 * 我孫子駅棒		ター等設備設置	1
		基本設計員担金 7,000 設計総額:23,000千円×1/3			* 設計総額:	57,000千円×1/3				(JR	・天王台駅ホームドア整備支援			(JRとσ)設計協議に		
					* 我孫子・天王台駅ホームドア		整順文版	0	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *					0 * 我孫子・天	土古駅ホー.	ムトア登傭文援	'
実施内容																	
(8) 施行事項 費 用																	
予算(決算)額		今 計		7, 666		合 計		19, 000			合 計			0	合 計		(
国庫支出金県支出金	補助率補助率		0 %	0	補助率補助率		0 %	0		補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	(
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	7, 666	充当率	7	75 %	14, 200 4, 800		充当率		0 %		0 充当率		0 %	(
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 口基金 口名	その他	0 0.73	□特会□	□受益 □基金 □そ	その他	0 0. 73		□特会	会 □受益 □基金	☆ □その他		0 □特会[□受益 □基金	金 口その他	0. 73
(10) 人 供 费				6, 424				6, 424					6, 42	24			6, 424
鳴託噸貝報酬額 臨時職員賃金額				0				0						0			C
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用	1	140.9千円	1 /0/	14, 090		254. 24千円	1 /0/	25, 424					6, 42	24			6, 424
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHEC	<u> </u>	140. 377	1/ 90			254. 24 🕆 🗀	1/ 70										
∠. 妻妻ひ飛fflUUTUTCI	in)																
	1																
評価項目	+ なて即のニッエ	由口以數供什	- 末足の名		う 評 価 切り事業でなり	まし! で! ま兄!	ナチウェのため す	口木坎安	①束前攻韧	での相中		価(評価結果に	むじ、改善案	E検討(拡充も含む	3))		改善検討
評価項目	鉄道(株)に対し	て積極的な支	援を行ってし	くが早期実現を望 いく必要がある。	望む事業であり、 。また、ホーム	ドアについては、近	生活向上のため、東 近年、ホームから線		①事前確認 ②事前確認				むじ、改善案	を検討(拡充も含む	3))		
	鉄道(株)に対し	て積極的な支	援を行ってし	くが早期実現を望 いく必要がある。	望む事業であり、 。また、ホーム		丘年、ホームから線	路への落〇	②事前確認	での想定と	どおり どおりでなかっ;		むじ、改善案	を検討(拡充も含む	3))		改善検討 〇要 〇不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由	鉄道(株)に対し 下事故が増えてい	て積極的な支 ることを考慮	援を行ってし し、整備主作	くが早期実現を追いく必要がある。 体であるJR東日本	望む事業であり、 。また、ホーム	ドアについては、近	丘年、ホームから線	路への落 ○ < **	②事前確認	での想定と	どおり どおりでなかっ; i/想定どおりで	たなかった原因>		を検討(拡充も含む	3))		O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	鉄道(株)に対し	て積極的な支 ることを考慮 NPO、市民団	援を行ってし し、整備主体 団体等では実	くが早期実現を望いく必要がある。 体であるJR東日本	望む事業であり、 。また、ホーム	ドアについては、シ ていく必要がある。	丘年、ホームから線	路への落 O < た	②事前確認 思定どおりる ①民間企業	での想定さ とした理由 を、NPO、	どおり どおりでなかっ; i/想定どおりで	た でなかった原因> よ実施できなかった		を検討(拡充も含む		由>	O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由	鉄道(株)に対し ・下事故が増えてい 〇①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主	て積極的な支 ることを考慮 NPO、市民団で市が実施すり 体が市しかない	援を行ってい し、整備主体 団体等では実 ることが定る	くが早期実現を望いく必要がある。 体であるJR東日本	望む事業であり、。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、シ ていく必要がある。	丘年、ホームから線	路への落 O < < t	②事前確認 思定どおり。 ①民間企業 ②市が先導 ③市が先導	での想定さ とした理由 、NPO、 にで進めない でとなった	どおり どおりでなかっ; //想定どおりで 市民団体等で	た なかった原因> よ実施できなかっ; なかった				由>	O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	鉄道(株)に対し ・下事故が増えてい 〇①民間企業、ト (理由) □法令等 □提供主 □その他	て積極的な支援を考慮 ることを考慮 NPO、市民団で市が実施する 体が市しかない	援を行ってい し、整備主体 団体等では実 ることが定め い	くが早期実現を望いく必要がある。 体であるJR東日本	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 3容>	丘年、ホームから線	路への落 O < ***	②事前確認 限定どおり。 ①民間企業導 ②市が先され 後で進さま ④市の支援	での想定されています。 とした理由 は、NPO、 に進むなった。 に に で した で が し た が し た が し た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	どおりでなかった。 一村民団体等では、 一村民団体等では、 一村には実効性が、 でしているとで、 一大にといる。 一本の目標の実	た でなかった原因> よ実施できなかっ? なかった 普及が一層				由>	〇要 〇不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	鉄道 (株) に対し ・ 下事故が増えてい 〇①民間企業、「 (理由) □法令等 ・ □提供主 ・ □その他 ●②自治体である ・ ○ ②自治体である ・ ○ ② 自治体である ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	て積極的な支慮 NPO、市民に で体が市が市しかない。 お導で進める。	援を行ってし、整備主体 団体等では実るい では定めい できである実	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を施できない められている 効性が得られる	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 3容>	丘年、ホームから線	路への落 - <本 - □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	②事前確認 限定どおりの (型市が発さする (型市が発さする (型市が発さする (型市が発さする (型市が発さする (型市が発さする (型市が発さする (型市の一ビービー (国・サービービー (国・サービービー (国・サービービー (国・サービービー (国・サービービー (国・サービービー (国・サービー (ロ・サービー (ロ・サー (ロ・サー (ロ・サー (ロ・サー (ロ・サー (ロ	での想定とした理由 とした理由 に、NPOい に に に に した に した に した に した に した は に した は い した は い した は い した は い した い した い し	どおりでなかった。 一村民団体等では、 一村民団体等では、 一村には実効性が、 でしているとで、 一大にといる。 一本の目標の実	た なかった原因> よ実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は	鉄道 (株) に対し 下事故が増えてい ○①民間企業、ト (理由) □法供生 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 □市が主	で表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	援を行ってすれる。 団体等では実を ではまない。 くきにとにといる。 まりよよよよよよよよる。 ないまでいる。 ないまでいる。 ないました。	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 3容>	丘年、ホームから線	路への落	②事前確認 限定どおり。 ①民間企業導 ②市が先され援 ③市の支 ④市のラビス	での想定とした理由 とした理由 、N進となった になるが進たが、 を確保を はたが、 といるでは、 といるでも、 といるでは、 といるでも、 といると、 といると、 といると。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	どおり どおりでなかっ? /想定どおりて ・市民団体等でが ・ナれば実か市民へ! ・施策の目標の実	た なかった原因> よ実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	鉄道 (株) に対し ・下事故が増えてい ○①民間企業、ト ・ □提供主 □ に接供主 □ である ・ □ である	てるで、 で体が で体が で体が で体が で体が で体が では では では では では では では では では では	援を行ってすれる。 団体等では実を ではまない。 くきにとにといる。 まりよよよよよよよよる。 ないまでいる。 ないまでいる。 ないました。	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 3容>	丘年、ホームから線	路への落	②事前確認 りの (全) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	での想定とした理由 とした理由 、N進となった になるが進たが、 を確保を はたが、 といるでは、 といるでも、 といるでは、 といるでも、 といると、 といると、 といると。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	どおり どおりでなかっ? /想定どおりて ・市民団体等でが ・ナれば実か市民へ! ・施策の目標の実	た なかった原因> よ実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	鉄道 (株) に対し、下事故が増えてい ○①民間企業、「等には、「理由」には、「現在の他 ●②自治体である。(理由)に市が主ましまが主まます。	て積極を考慮 Pで体が市しています。 Pで体が市が推進のはいます。 では、実施・構造のは、実施・提供証さと、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	援を、整ではまた。 一切体等をである。 ではなこいできにといる。 ではというないが、できなりは、一般では、 ではないが、できないがいが、できないがいが、できないが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 可容>	丘年、ホームから線	路への落	② また と	とした理由 も、NPO へに はで進めなった はで進めなった はななった が政策・ が政策・ を はた が政策・ を は ないなった ないながな で を ないながる ないながながる ないながながる ないながながる ないながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	どおり どおりでなかっ? /想定どおりて ・市民団体等でが ・ナれば実か市民へ! ・施策の目標の実	た なかった原因> よ実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた		⑥ の具体的な内容・	必要性の理		○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	鉄道 (株) に対し ・下事故が増えてい ○①民間企業、ト ・ □提供主 □ に接供主 □ である ・ □ である	で表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	援し、	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 3容>	丘年、ホームから線	路への落	② 限定 どお 明 か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	での想定とした理由とした理由して、N P O へに進めたできたできたできたできたが、本学定に大が水学定性系が水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、	どおりでなかった。 ・ 本民団体等で ・ 市民団体等でかった。 ・ 本民団体等でかられば実効性が、 ・ たことで市民へ、 ・ 施策の目標の実に ・ 保された。 会基盤が確保さい。	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	云 <市実施	⑥ の具体的な内容・			○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	鉄道 (株) に対し、下事故が増えていい。 ○①民間企業、「等には、「理由」には、「現由」には、「現本である。 「理由」には、「理由」には、「できる。「理由」には、「できる。「できる。」では、「できる。「できる。」では、「できる。」では、「できる。「できる。」では、「できる。」できる。」では、「できる。」できる。」では、「できる。」できる。」できる。」できる。」できる。」できる。」できる。」できる。」	てる Pで体 5 専連 2 では ペニ 3 では 1 で 4 で 4 で 5 で 4 で 5 で 5 で 6 で 7 で 4 で 5 で 6 で 7 で 4 で 6 で 7 で 4 で 7 で 4 で 7 で 6 で 7 で 4 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	援し	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 可容>	丘年、ホームから線	路への落	② 限定 どお 明 か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	での想定とした理由とした理由して、N P O へに進めたできたできたできたできたが、本学定に大が水学定性系が水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	< 市実施 O(1)当社 O(2)当社	画の具体的な内容・ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理		○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	鉄道 (株) に対し、下事故が増えていい。 ○①民間企業、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、「等は、」では、「等は、」がは、「等は、」では、「等は、」がは、」がは、「等は、」がは、」は、「等は、」は、「等は、」がは、」は、「等は、」は、「等は、」は、」は、「等は、」は、」は、「等は、」は、」は、「等は、」は、」は、「等は、」は、」は、」は、「等は、」は、」は、」は、「等は、」は、」は、」は、「等は、」は、」は、」は、「等は、」は、」は、」は、	でない では	援し かいくところよ かい りょうしん かいく ところより 内容 でにと 政 容 りりりりり	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 可容>	丘年、ホームから線	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想定とした理由とした理由して、N P O へに進めたできたできたできたできたが、本学定に大が水学定性系が水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	< 市実施 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	鉄道 (株) に対し、下事故が増えていい。 ○①民間企業、等等には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	でない では	援し かいくところよ かい りょうしん かいく ところより 内容 でにと 政 容 りりりりり	くが早期実現を当いく必要がある。 体であるJR東日本 を応できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	望む事業であり、 。また、ホーム 本に支援を行って	ドアについては、近 ていく必要がある。 可容>	丘年、ホームから線	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想定とした理由とした理由して、N P O へに進めたできたできたできたできたが、本学定に大が水学定性系が水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、水学では、	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	< 市実施 〇①当 〇②当 〇③当	画の具体的な内容・ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	鉄道 (株) に対しい 下事 が増え (株) に対しい 下事 が増え (東西 に対して (東西 に対して でから (東西 に対して でから できない できない できない できない できない できない できない できない	でない では できない できない できない できない できない できない できない できない	援し	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想定 とした理由 とした理由 し、N P O へ にで進とた で進とた はで進とた が本学定 に が確り なか。 が確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 でを なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	< 市実施 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	鉄道 (株) に対しい 下事 が増え (株) に対しい 下事 が増え (東西 に対して (東西 に対して でから (東西 に対して でから できない できない できない できない できない できない できない できない	でない では できない できない できない できない できない できない できない できない	援し	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近 ていく必要がある。 可容>	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想定 とした理由 とした理由 し、N P O へ にで進とた で進とた はで進とた が本学定 に が確り なか。 が確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 で確し なか。 でを なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。 なか。	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	< 市実施 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	鉄道(株)に対しい 「東京 は は は は が 増 に が 増 に が 増 に 対 に が 増 に 対 に が 増 に 対 に が 増 に が 増 に が は は は は は は は は は は は は は は は は は は	てる マで体 る 導施ス援図 では、	援し かく さい さい ない	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想 理 由 C N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった。 一才想定どおりで 市民団体等が さればとでは、 市民はといる。 を変われた。 を変われた。 を楽された。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	< 市実施 〇①当者 〇②当者 〇③当者	を加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以た下 、た以上となった 環 環 環	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 赤民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) に対しい 下事 が増え (株) に対しい 下事 が増え (東西 に対して (東西 に対して でから (東西 に対して でから できない できない できない できない できない できない できない できない	てる アで体 る 導施ス援図 下で体 な 導施ス援図 下で体 な 準め供証こる ト 参参参と実	援し かく さい さい ない	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体に ため、市民の参加に	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想 理 由 C N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった。 一才にというでは、一方に関係を性が、一方には、というでは、一方には、というでは、一方には、というでは、一方に、ないのでは、一方に、ないのでは、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	(本)	を加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 、た以上となった理	必要性の理動の程度・原理由/期待以	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・ 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) によ (水)	てる Pで体 る 導施ス 援図 では、	援し かい くとこるよ かい りりりに 法 視 でか ありよ 策 容 いっぱん 策 ない	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体に ため、市民の参加に	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想 理 由 C N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった。 一才にというでは、一方に関係を性が、一方には、というでは、一方には、というでは、一方には、というでは、一方に、ないのでは、一方に、ないのでは、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	(市実施(下実施(口) 当者(図) 3 当者(期待し(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回)	参加・協 参加・協 初期待したとおり初初期待したとおり でなった理 定どおりでなかっ	必要性の理 働の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・ 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) にえ (株) に対 (水) に対 (水) にえ (東南	てる Pで体 る 導施ス 援図 では、	援し かい くとこるよ かい りりりに 法 視 でか ありよ 策 容 いっぱん 策 ない	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体に ため、市民の参加に	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想 理 由 C N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった。 一才にというでは、一方に関係を性が、一方には、というでは、一方には、というでは、一方には、というでは、一方に、ないのでは、一方に、ないのでは、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	(市実施(下実施(口) 当者(図) 3 当者(期待し(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回)	を加・協 初期待したとより 初初期待したとより 初の期待したとより 初の期待したと では、たい上となった理 環は	必要性の理 働の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 赤民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) によ (水)	To A P To The The To The The To The	援し かい くとこるよ かい りりりに 法 視 でか ありよ 策 容 いっぱん 策 ない	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている 対性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、 を策の目標の	望む事業であり、また、木の山の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体に ため、市民の参加に	的な内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想 理 由 C N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった。 一才にというでは、一方に関係を性が、一方には、というでは、一方には、というでは、一方には、というでは、一方に、ないのでは、一方に、ないのでは、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に、一方に	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	(市実施(下実施(口) 当者(図) 3 当者(期待し(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回)(回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回) (回)	参加・協 参加・協 初期待したとおり初初期待したとおり でなった理 定どおりでなかっ	必要性の理 働の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) *** ** ** ** ** ** ** ** **	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (地) によ (地)	To A pin A in A in A in A in A in A in A i	援し 団るい くとこるよ の figing 法 視 いるにと り 内 りりりて 令 にと り 下さい ちょん 策 と あよん 策 を い ちょん 策 と あまん 策 を い ちょん 策 と ちょん 策 と ちょん 策 と ちょん 策 と ちょん からして からして からして からして からして からして からして からして	くが早期実現を当いない。 ないのできない。 を施できない。 められている。 効性が得ららな。 効性が得で安定。 が、、、 施策の目標の	望む事業であり、ままた、本に支援を行ってくその他の内とくその他の内を	ドアについては、近 ていく必要がある。 P容> エ夫の具体に ため、市民の参加に 取組むに	がな内容 は難しい。 内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想をとし、N 単独 と に、では、 N 単独 と に、 N 単 と	どおりでなかつ。 一才記念とおりでなかった。 一才にというでは、一方には、一方には、一方には、一方には、一方にないでは、一方にないでは、一方にないない。 一方にないない。 一方にないないない。 一方にないないないないない。 「「「「「「「「「「」」」 「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」」	た さなかった原因> は実施できなかった 等及が一層 現に貢献した れた ないな今後、 ないの内容)	で (本字施の①当者の②当者の②当者の②を(本規) (本規) (本規) (本規) (本規) (本規) (本規) (本規)	参加・協 参加・協 初期待したとおり初初期待したとおり でなった理 定どおりでなかっ	必要性の理 働の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・ 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) によ (水)	To A P To The The To The The To The	援し dasn class dasn file file is in the class of the cla	くが早期実現を言いない。 ないのできない。 を施できない。 の対性が質では、 が大力では、 が、、 を集められている。 のは、 が、 のは、 が、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	望む事業であり、 ままた、大学を行って 「「「「「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	ドアについては、近 ていく必要がある。 P容> エ夫の具体に ため、市民の参加に 取組むに の妥当性のチェック	がな内容 は難しい。 内容	路への落	② 東 東 で で で で で で で で で で で で で	での想での想でいます。 とし、N が とし、N が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にというでは、 一方にを確保というでは、 一方にをなる場合というでは、 一方には、 一方にはは、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、 一方には、	た なかった原因> は実施できなかった まかった 普及が一層 現に貢献した れた ななく ななが一層	で (本字施で (本字施で (本字を)で (本字を	参加・協 参加・協 初期待したとおり初初期待したとおり でなった理 定どおりでなかっ	必要性の理 働の程度・F 理由/期待以 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 赤民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) 増加 (水) 増加 (水)	To A pink A pi	援し かくとこるよ かり j j j j j j j j j j j j j j j j j j	くが早期実現を3。 くが早期実現を3。 体であるJR東日本 といくであるJR東日本 といくであるJR東日本 といくであるJR東日本 というできないる のはいる。 が、良策の目標の り限定されたもの。 はできない。 のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	望む事業であり、 はまた、 はまた、 なまた支援を行って くその他の内 た となっているが を事実が なっているが に実現性基づい	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体 ため、市民の参加に 取組む の妥当性のチェック き設定している 値ではない	がな内容 は難しい。 内容	路への落	② 限定 どお の の の の の の の の の の の の の の の の の の	での想では、 での想と、 にで役とたが水ので 参協 を を を を を を を を を を	どおりでなかつ。 一才記念とおりでなかった。 一才にというでは、一方には、一方には、一方には、一方には、一方にないでは、一方にないでは、一方にないない。 一方にないない。 一方にないないない。 一方にないないないないない。 「「「「「「「「「「」」」 「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」」	た さなかった原因> ま実施できなかった 等及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	で マ 市実施() () () () () () () () () ()	参加・協 参加・協 初期待したとおり初初期待したとおり でなった理 定どおりでなかっ	必要性の理 動の程度・F 理由/期待以 竟への配慮 た 原因〉	内容	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) *** ** ** ** ** ** ** ** **	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (地) によ (地)	To A pin A in A in A in A in A in A in A i	援し	くが早期実現を3。イオマルイである日本である日本である日本である日本である日本である日本である日本である。 おいらい おいらい おいらい おいらい はいり はいり はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	望む事業、というでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	ドアについては、近くの要がある。	がな内容 は難しい。 内容	路への落	② 東 東 で で で で で で で で で で で で で	での想では、 での想と、 にで役とたが水ので 参協 を を を を を を を を を を	どおりでなかった。 市民団体外では、 市民団体外では、 市民団体外では、 ・ 市民では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た さなかった原因> ま実施できなかった 等及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	で マ 市実施() () () () () () () () () ()	参加・協 初期特したと上 初期特もしたとより 初初の期待したとこ ではなった理 定どおりのなかった原	必要性の理 動の程度・F 理由/期待以 竟への配慮 た 原因〉	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) *** ** ** ** ** ** ** ** **	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (東) によ (東)	To A pink A pi	援し かく さとこるよ かり 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	くが早期実現を3 くが早期実現を3 くが必要要がR東日本 を1 になっている が、良いできない。 が、自体できない。 が、自体できない。 が、自体できない。 が、自体ででは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	望む事業であり、はままで、中では、では、ままで、中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ドアについては、近くの要がある。	がら線 的な内容 は難しい。 内容	路への落	② 東 東 で で で で で で で で で で で で で	での想では、 での想と、 にで役とたが水ので 参協 を を を を を を を を を を	どおりでなかった 一	た に なかった原因 > は 実施できなかった 原因 > は 実施できなかった 音及 に 貢献 した れた	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をの具体的な内容・参加・協 参加・協 初期特したとおり がいの期待したとおり がいのがあり、たい をどどおりでなかった原 でなかった原因>	必要性の理 動の程度・F 理由/期待以 竟への配慮 た 原因〉	内容 下であった原因:	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境(の配慮 (1)目標設定は適切か?	鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (東) によ (東)	てる マで体 お 導施ス援図 市主の アで体 お でん	援し	くが早期実現を当。水 が必必ある日本 を を にないる の はで の の の の の の の の の の の の の	望む事: ままままで	ドアについては、近ていく必要がある。 17	がな内容 がな内容 は難しい。 内容 でも関係値(と現況値 では、現況では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	路への落	② 東 東 で で で で で で で で で で で で で	での想では、 でのとし、 N 推とと のなっ が確と がではた。 がではた。 がでは、 でではた。 がでは、 ででいる。 ででは、 ででいる。 ででは、 ででいる。 ででい。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。	どおりでなかつ: 一才記しておりでなかった。 一才にことで目体の場合には、 一方には、一方にでは、 一方にでは、 一方には、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方には、	た でなかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった 音及が一層 現に 貢献 した れた (又は今後、よその内容)	 では、 では、	をの具体的な内容・参加・協 初期特した以上おり 初期の期待け以とおり でなかった理 定だおりでなかった原 は成となった原因>	必要性の理 働の程度・P ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 下であった原因 策について	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 参加・抗働ののようでは、できないののでは、できないであるが? (体制づくり) 環境(の配慮 して事業を進める) (1)目標設定は適切か?	・ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) 増加 (水) 増加 (水)	てる Pで体 る 導施ス 援図	援し	くが早期実現を3。 くが早期実現を3。 はいない。 はいるのは、 はいるがは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、 はいながは、	望。本に マーク 実がが象ある 実践が開いた ままな とな ここ は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は い は な な な な な な な な な な な な な な な な な	ドアについては、近ていく必要がある。 日容> エ夫の具体 ため、市民の参加は 取組む の妥当性のチェック き値ではない なない ない対象例におけ、 を施予定の対策	が から線 から線 から から かな 内容 は難 しい。 内容 できる	路への落	② 限定 (1) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	での想では、 でのとし、 N 推とと のなっ が確と がではた。 がではた。 がでは、 でではた。 がでは、 ででいる。 ででは、 ででいる。 ででは、 ででいる。 ででい。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。	どおりでなかった 市民団体 特性 へいまい はいまい では かった 東京 はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	た に なかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった	 では、 では、	参加・協 参加・協 初期特待したとおり が取り待りにといるのでである。 定とどおりでなかった原 となった原因 ・ では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	必要性の理 働の程度 「「 費の配慮 たた。」 費の削減対対 でたどおりでた	内容 下であった原因:	○要 ○不要 ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境(こ配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ 大学 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (地) によ (てる Pで体 る 導施 ス 援図	援し	くが早期実現を当。水が必要を引きない。 「できない。 「ではない。 「できない。 「できない。 「ではない。 「できない。 「できないい。 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	望。本に マーク 実がが象ある 実践が開いた ままな とな ここ は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は い は な な な な な な な な な な な な な な な な な	ドアについては、近、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が から線 から線 から から かな 内容 は難 しい。 内容 できる	路への落	② 限定 (1) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と し N が 表	どおりでなかつ: 一才記しておりでなかった。 一才にことで目体の場合には、 一方には、一方にでは、 一方にでは、 一方には、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方には、	た に なかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった	 では、 では、	をの具体的な内容・参加・協 初期特した以上おり 初期の期待け以とおり でなかった理 定だおりでなかった原 は成となった原因>	必要性の理 働の程度 「「 費の配慮 たた。」 費の削減対対 でたどおりでた	内容 下であった原因:	○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市市民との協働を であるが? (体制づくり) 環境(に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	・ (株) にえる (株) にえる (株) にえる (株) にえる (水) にえる (水) にえる (水) にえた (水) にえた (水) にえた (水) にえた (水) によれ (てる Pで体 る 導施ス援図 市市市な を	援し	くいないない。 施策の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	望。本に マーク 実がが象ある 実践が開いた ままな とな ここ は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は い は な な な な な な な な な な な な な な な な な	ドアについては、近、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が から線 から線 から から かな 内容 は難 しい。 内容 できる	路への落	② R 定 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と し N が 表	どおりでなかつ: 一才記しておりでなかった。 一才にことで目体の場合には、 一方には、一方にでは、 一方にでは、 一方には、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方には、	た に なかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった	 では、 では、	参加・協 参加・協 初期特待したとおり が取り待りにといるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必要性の理 働の程度 「「 費の配慮 たた。」 費の削減対対 でたどおりでた	内容 下であった原因:	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を加入して制づくりり) 環境(への配慮 (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ (株) にえる (株) にえる (株) にえる (株) にえる (水) にえる (水) にえる (水) にえた (水) にえた (水) にえた (水) にえた (水) によれ (てる Pで体 る 導施 ス 援図	援し	くいないない。 施策の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	望。本に マーク 実がが象ある 実践が開いた ままな とな ここ は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は は は でんしょう は い は な な な な な な な な な な な な な な な な な	ドアについては、近、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が から線 から線 から から かな 内容 は難 しい。 内容 できる	路への落	② R 定 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と し N が 表	どおりでなかつ: 一才記しておりでなかった。 一才にことで目体の場合には、 一方には、一方にでは、 一方にでは、 一方には、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方にはは、 一方には、	た に なかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった	 では、 では、	参加・協 参加・協 初期特待したとおり が取り待りにといるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必要性の理 働の程度 「「 費の配慮 たた。」 費の削減対対 でたどおりでた	内容 下であった原因:	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境(の配慮 (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	・ 鉄道 (株) にえる (株) にえる (株) にえる (株) にえる (水) にえる (水) にえる (水) にえる (水) にえる (水) にえる (水) によって (水)	てる Pで体 る 導施ス援図 市市市な を	援し	くいない (本で)	望。まで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きなで、大きな	ドアについては、近、 ででは、近、 でででいては、近、 でででいては、近、 でででできる。 マン	的な内容 は難しい。 内容 「香煙」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田	路への落	② R 定 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と し 、	どおりでなかつ。 一才によりでなかった。 一才によりでなかった。 一才によりでは、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方に	た でなかった原因 > は実施できなかった ま実施できなかった の	(市実施(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組(本事業組<!--</td--><td>参加・協 参加・協 初期特待したとおり が取り待りにといるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>必要性の理 一</td><td>内容 下であった原因: 策について はかった った原因></td><td>○ 要</td>	参加・協 参加・協 初期特待したとおり が取り待りにといるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○ 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (体制づくり) (本制づくり) (本制づくり) (本制づくり) (本制づくり) (本制が、(本制が、(本制が、(本制が、(本制が、(本制が、(本制が、(本制が、	・ 鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) 増加 (水) 増加 (水) 単元 (水) 単元 (水) 単元 (水) 単元 (水) 中市 (てる Pで体	援し	くが早期実現を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10	望む事にあり、	ドアについては、近くのでは、近くの要がある。 マン	から線 から線 から から は 難 しい。 内容 できる 目標値 (と 現況) では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかった 一	た になかった原因 > は実施できなかった 原因 > は実施できなかった 原因 した	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○要の不要 ○要要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 参加に協働のの以表して事業を進めては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	・ 大学 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) (東) にえ (東) によ (東)	てる Pで体	援し	くが早期実現を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10 を10	望む事にあり、	ドアについては、近くのでは、近くの要がある。 マン	的な内容 は難しい。 内容 「香煙」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかつ。 一才によりでなかった。 一才によりでなかった。 一才によりでは、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方には、一方に	た に なかった原因 > は ま	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○ 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) (本制づくり) (本制づくり) (本制が会社であるが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	・ 鉄道 (株) にえ (株) にえ (株) にえ (株) にえ (水) 増加 (水) 増加 (水) 単元 (水) 単元 (水) 単元 (水) 単元 (水) 中市 (てる Pで体	援し	くが早期実現を3。 くいが早期実現を3。 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいするのは、 はいでのは、 はいでのは、	望む事にあり、	ドアについては、近くのでは、近くの要がある。 マン	から線 から線 から から は 難 しい。 内容 できる 目標値 (と 現況) では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかった 一	た に なかった原因 > は ま	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○要の不要 ○要要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 参加・協働のエ大 (市実施の必要性) 参加・協力のがであるである。 (市実施の必要性) 参加・協働のエ大 (市実施の必要性) 参加・協働のエスト (本制づくり) 環境(の配慮 (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減のエストをしてである。 (1)目標設定は適切か?	・ 下事 道 (株) にえ (水)	てる Pで体 る 導施 ス 援図	援し	くいないない。 (1) では、 (1)	望む事にあり、	ドアについては、 る。 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお で	から線 から線 から から は 難 しい。 内容 できる 目標値 (と 現況) では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかった 一	た に なかった原因 > は ま	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける をかける	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市民との協働の工夫もついり) エ大夫しつくり) 「は制づくり) (本制づくり) (本制づくの配慮 (1)目標設定は適切か? (2)事業費が完 (3)目標はを実現する適正か? (日標対とおり推進 (3)現状どおり推進 (本がある。	・ 下事 道 (株) にえ (水)	てる Pで体 る 導施 ス 援図	援し	くい体である日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	望む事までありようで、本にで、本にで、本にで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大き	ドアについては、 る。 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお で	的な内容 は難しい。 内容 「等民間資本のの活用者他 大単位/ン事業費用単位/	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかった 一	た で なかった原因 > は ま	 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	をの具体的なから 参加・協 初初期待した以上おり した以上となった 理 定 どおり でなかった 原 本 前前 前 前 おおり で なった 原 国 本 郷 で なった 原 国 本 郷 で なった 原 国 本 郷 で は に と なった 原 国 大 で は に 以上となった で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は (1)市場での必要性) (本制がでの必要性) (本制ができません。 (本制が定義して、主義して、主義して、主義して、主義して、主義して、主義して、主義して、主	・ 下事 道 (株) にえ (水)	てる Pで体 る 導施 ス 援図	援し かくとこるよ かりりりり ていた でんと い 政 容 でにと い 政 容 いっぱ に い なりよ 策 で る実り、 か かりりり てい か いりりり てい か ちりよ 策 の の りりり でか ありよ 策 で は 文章 単 単 の の の の の の の の の の の の の の の の の	くい体である日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	望む事までありようで、本にで、本にで、本にで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大き	ドアについては、 る。 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお る。 「おおから」 「おおおお で	的な内容 は難しい。 内容 「等民間資本のの活用者他 大単位/ン事業費用単位/	Shan (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	② R 定 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	で と L N 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	どおりでなかった 一	た で なかった原因 > は ま	C C C C C C C C C C	をの具体的なから 参加・協 初初期待した以上おり した以上となった 理 定 どおり でなかった 原 本 前前 前 前 おおり で なった 原 国 本 郷 で なった 原 国 本 郷 で なった 原 国 本 郷 で は に と なった 原 国 大 で は に 以上となった で は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	必要性の理 一	内容 下であった原因: 策について はかった った原因>	○要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

	<u> </u>				于切于 ———————————————————————————————————	耒評恤表(平 成	.01一及/							
事業コー	۴	1829		課コード	0602	会計種類	別一般会計			予算の種	種類 ■	政策	■経常	□なし
1. 事業(の概要(PLAN)													
		①事業名	基本事業				実施計画への		〇有 〇無	2	部課名	建設部・交	通課	
					義会運営(市民バスの運行)		位置づけ							
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○)その他(平 _尼			④対象地区⑥担当職員数	□□技孫	□我孫子 □天王台 □湖 5				●全市 0.66 人)	
(1)事業概要		⑦事業費		- 179			当該(開始)年	(当初)		1 千円				
		(人件費含む)	総事業費		54,006 千円	4, 000 +H			(変更後)		千円 (うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード	63402	重点プロジェクト への位置づけ	重点 4	基本計画地区計画への位置で		○有 ●無	剖	『門別計画への 位置づけ	(計画名)		
		施策目的・	市民が快適に通		 こ必要な移動ができるよう、駅や各版		バス	地域が育み	y誰もが安心・安全・快適			<u> </u> 立する。		
(2)目的		展開方向			通事業者と連携し、バス輸送力と利信 トルバスの導入について市内バス事業		市域事業目的	既存公共3	で通を補完する市民バスを	運行する。				
			○地域公共交通・我孫子市の公		指した連携計画に代わる新たな公共3	交通のあり方の検討。			あびバス運行(年中無我孫子市地域公共交通		(2~3回)			
				らける安全性と地域の写 川用促進等の新たな交通	実情に沿ったあびバス運行方法の検討 通政策の検討。	讨。	当該年度 執行計画		4月~3月 新たな公共交通のあり方検討 4月~3月 ユニバーサルデザインタクシー導入支援					
(3)事業内容		内 容	○市民バスの運 ・地域が育み誰		窗に利用できるあびバスの運行。	こ利用できるあびバスの運行。								
			・バス老朽化等	うれる 「本の対応策検討 「通(シャトルバス等)			当該年度		ふれあいバス(市内バス	.停)利用者	数	単位	想定值人	210, 0
(A) '** C' C' F	(期待する成果)			《主体となる新たな公共	共交通実現に向けた支援。		活動結果指標	<u> </u>		1200		単位	実績値	(C) D +== 1
当該年度	(期付する队果)	あびバス各路線の	課題を整理し、安		目標(期待する成果) に沿った運行形態とする。		指標種類 直接	あびバス・	_担 ふれあいバス(市内バス		<u></u> 数	人	(5) 現況値 210, 158	(6)目標(
令和 2年月		あびバス各路線の	課題を整理し、妄	 そ心・安全でより地域/	こ沿った運行形態とする。		直接	あびバス・	ふれあいバス(市内バス	.停)利用者	数		210, 100	225, (
		あびバス各路線の	課題を整理し、多	 ₹心・安全でより地域「	こ沿った運行形態とする。			あびバス・	ふれあいバス(市内バス	.停)利用者	数			
令和 3年月 ————————————————————————————————————	포 	バスの台数や運	行費用の関係で	地域のすべてのニー	ズに応えることは難しい。特に運行		直接			1		٨.		225, (
(7)事業実施.	上の課題と対応				た状況を地域の方に理解していただ				○有 ●無					
			平成30年度			平成31年度			令和 2年度			令和] 3年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円) 決	快算額(千円) 政策	内	容 金	â額(千円)	政策	内 容	!	金額(千円
		委員報償費 我孫子市地域の	公共交通協議会負担	17	79 委員報償費 我孫子市地域公共交通協議会	179		は報償費 系子市地域公共で	₹通協議会負担金	179		域公共交通協	議会負担金	1
		協議会運営費・需用費			協議会運営費 20 ・需用費・事務費	70	協調	義会運営費 語用費・事務費		70	協議会運営・需用費・	費	,m2X,=1	
		・事務費		7	70 ・役務費	100	- 13	と 務費		100	・役務費	于1万民		1
	** ***	・役務費・旅費・旅費・おびごろ答問	最 仁 言田★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★		20 · 旅費 4 · 交通意識調査	1,000	. 3	R費 E通意識調査 ■転免数を組まり	1.油 4.1 产	1,000	・旅費・交通意識・変		ı.	1, 0
(8) 施行事項	実施内容	アンケート垂		10	05 * ・ユニバーサルデザインタク		· =		デインタクシー支援	480 300	・ユニバー		タクシー支援	6
	費用		ス運行開始に向けた		0 印西市コミュニティバス負担		印色	/ャトルバス運行 市コミュニテ/	ィバス負担金	10, 000 4, 144	*・シャトル 印西市コミ	ュニティバス		20, 0 4, 1
		市民バス運行業	ニティバス負担金 業務委託	· ·	新木地区	14, 131	• 亲	ミバス運行業務委 所木地区	話	14, 131	市民バス運・新木地区			14, 1
		・新木地区 ・船戸・台田地		13, 86 5, 28		5, 423 6, 933		沿戸・台田地区 ・泉・並木地図	<u>ς</u>	5, 423 6, 933	・船戸・台・栄・泉・			5, 4 6, 9
		・栄・泉・並木・布施地区	(地区	6, 21 11, 46		10, 790 9, 139		5施地区 夏戸地区		10, 790 9, 139	・布施地区			10, 7 9, 1
		·根戸地区 土地賃借料		9, 32		30		也賃借料		30	土地賃借料			٠, ،
	予算(決算)額		計	52, 13		53, 023	<u> </u>	合	타	62. 723		合 計		73. 0
	国庫支出金	補助率	0 0	%	0 補助率	0 % 0 0 % 0	補助補助	率	0 %	0 0	補助率		0 % 0 %	73, 0
(9) 財源内訳	起債	充当率	0 (%	0 充当率	0 % 0	充当	·	0 %	0	充当率		0 %	70.0
	一般財源 その他の財源	□特会 □受益	益 口基金 口その		0 □特会 □受益 □基金 □ 4			特会 □受益 □]基金 □その他	62, 723	□特会□]受益 □基金	: □その他	73, 0
(10)人件費等	換算人数(人) 正職員人件費			0. 6 5, 80	08	0. 66 5, 808				0. 66 5, 808				0. 6 5, 80
	嗎託 職員 報酬 額 臨時職員賃金額				0	0				0				
事業費(予算(決 (11)単位費用	₹算)額+正職員人件費)]		0.28千円/人	57, 93	0.28千円.	58, 831				68, 531				78, 83
	/活動結果指標) の 評価 (DO+CHECK	1	0. 20TH/ A		0. 20千円.									
		l			+ = /r	T T		± //			.=1 /14-4 A.4.	· ·		75.00
1	評価項目	公共交通等により	市民の移動におけ		前 評 価 ことは重要な施策であり、既存交通の	の発展や新たな交诵手段・対	〇①事前確認での想		評 価(評価結果に応じ	、 以 善 条 快	討(拡充も含む))		改善検
(1)事業;	が今必要である理由・	策を検討し展開す	るためには、識者	・交通事業者・市民	・警察・国交省などが参加する我孫- 管するあびバスの運行方法について	子市地域協議会で審議し、適								〇要
	ま?(事業の必要性)	していくことが最			2, 66,6, 1, 10,2,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1		<想定どおりとした	理由/想定どお	りでなかった原因>					〇不要
		▲①早間企業 №		等では実施できない	<その他の内容>		口①足問企業 N.C	00 市民団体等	手では実施できなかった	/ 古宝族の	具体的な内容・	必要性の理由	1	
必		(理由) □法令等		とが定められている	(0)18077147		□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層					.,		
要		□その他				C C C C C C C C C C			促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された					
性 (2)市が3	実施する必要性は か?	O②自治体である												O要
(市実	施の必要性)	口市が実	施・提供すること	こより実効性が得られる :により、良質で安定し					*された					〇不要
			スが保証される	1.75 th			□⑦その他							
)政策・施策の目標の			<その他の内容>							
			図られる	,			<その他の内容>							
		実現が	図られる		工夫の具体	的な内容	<その他の内容> 実施した参加・	協働の具体的な 考えられる場合	で内容 (又は今後、 にはその内容)		参加・協	動の程度・内	容	
参		実現が □その他	図られる 参加・協働の内 で市民の参画有り		市民、公共交通事業者、行政等	テから構成される我孫子市地域	<その他の内容> 実施した参加・				期待した以上	動の程度・内	容	
市民の参	かや市民との協働を	実現が □その他	図られる 参加・協働の内 こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り	内容		テから構成される我孫子市地域	<その他の内容> 実施した参加・			〇②当初期		動の程度・内	容	O要
・ 市民の参 協 工夫して (体制づ・	いるか?	実現が 口その他 〇①事業計画時に 〇②事業実施時に 〇③市民の国主的 ●⑤市民と共同で	図られる 参加・協働のが こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り な活動と連携して	内容	市民、公共交通事業者、行政等	テから構成される我孫子市地域	<その他の内容> 実施した参加・			〇②当初集 〇③当初(明待した以上 明待したとおり D期待以下		容	О ж Отже
・ 市民の参 協 工夫して (体制づ・	いるか?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ●⑤市民と共同で ○⑥その他	図られる 参加・協働のが こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り な活動と連携して	内容	市民、公共交通事業者、行政等	テから構成される我孫子市地域	<その他の内容> 実施した参加・			〇②当初集 〇③当初(明待した以上 明待したとおり D期待以下			
・ 市民の参 協 工夫して (体制づ・	いるか?	実現が 口その他 〇①事業計画時に 〇②事業実施時に 〇③市民の国主的 ●⑤市民と共同で	図られる 参加・協働のが こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り な活動と連携して	内容	市民、公共交通事業者、行政等	テから構成される我孫子市地域	<その他の内容> 実施した参加・			〇②当初集 〇③当初(明待した以上 明待したとおり D期待以下			
・ 市民の参 協 エ夫して 働 (体制づ・	いるか?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ●⑤市民と共同で ○⑥その他	図られる 参加・協働のが こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り こ市民の参画有り な活動と連携して	内容	市民、公共交通事業者、行政等	序から構成される我孫子市地域 庁ルート等の検討を行っている	<その他の内容> 実施した参加・協働が		ricはその内容)	〇②当初集 〇③当初(明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理			
・協働の工夫	いるか?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ●⑤市民と共同で ○⑥その他	図られる 参加・協働の内に市民の参画有りいます。 では、一部民の参画有りいます。 では、一部民の参画を持っています。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 で	内容	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<その他の内容> 実施した参加・協働が	考えられる場合	ricはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理	由/期待以下		
・協働の工夫	いるか?(り)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実連常に ○③育理・連常に ○④市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容>	図られる 参加・協働の内に市民の参画有りいた市民の参画連携している業を実施 配慮の視点 を記述している を対している を表している	内容でいる	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<その他の内容> 実施した参加・協働が	考えられる場合	ricはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった	由/期待以下		〇不要
・協働の工夫	いるか?(り)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施第に ○③市民と共同で ○⑤その他 <その他の内容>	図られる 参加・協働の内に市民の参画有りいた市民の参画連携している業を実施 配慮の視点 を記述している を対している を表している	内容でいる	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<その他の内容> 実施した参加・協働が	考えられる場合	ricはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理 環境	由/期待以下		O不要
・協働の工夫	いるか?(り)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③事理・連営主的 ●⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共 □③手環境百	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りいで、市民の参画有りいた方民の参連携である業を実施 配慮の視点を表示している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。	内容でいる	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<その他の内容> 実施した参加・協働が	考えられる場合	ricはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった	由/期待以下		〇不要
・協働の工夫	いるか?(り)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業主施運営主所で ○③管市市民とと ○⑤その他 ○その他の内容> □①自然環境を共有 □③軍環境と共育環境他 ○その他の内容>	図られる 参加・協働の内に市民の参加を連携しているで事業を実施 配慮の視点 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。	内容	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・内容 って、002の削減に貢献してい	実施した参加・協働が	禁えられる場合	はにはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった	由/期待以下		O不要
・協働の工夫環境への配慮にかった。	いるか? (り) 記慮して事業を進めて	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施営に ○④市民の共 ○⑤をの他 ○その他の内容> □①自然環境を生みので □②生きが沼角では ■④環境の他 □③その他	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りいで、市民の参画有りいた方民の参連携である業を実施 配慮の視点を表示している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。	内容 ている i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している	序から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている ・内容 って、002の削減に貢献してい	<その他の内容> 実施した参加・協働が 参加・協働が	考えられる場合 対応した具体的な 達成率(%)	ricはその内容)	○②当初期 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった	由/期待以下		○不要 ○ 要 ○ 不要
・協働の工夫環境への配慮環境への配慮	いるか?(り)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業主施運営主所で ○③管市市民とと ○⑤その他 ○その他の内容> □①自然環境を共有 □③軍環境と共育環境他 ○その他の内容>	図られる 参加・協働の内に市民の参加を連携しているで事業を実施 配慮の視点 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。	内容 ている 「②寝観的値を比の 「③現況値と 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「③現況値を 「○のできる。 「○のできる。」 「○のできる。 「○のできる。」 「○のできる。 「○のできる。」 「○	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 目標値の妥当性のチェック 不実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない	存から構成される我孫子市地域 可ルート等の検討を行っている 内容 つて、CO2の削減に貢献してい	実施した参加・協働が	満えられる場合 施した具体的な 状況	(内容)	○②当初 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。 <想定どお	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった りでなかった原	由/期待以下		O不要
・協働の工夫環境への配慮にかった。	いるか? (り) 記慮して事業を進めて	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③事理・連営主的 ●⑤市民と他 <その他の内容> □①自然環境を生みでである。 □③自然である。 □③自然である。 □③のでは、 □○のでは、 □	図られる 参加・協働のが に市民の参与の参して に市民の参多連携して に対して に対して に対して に対して に対して には に対して によって にいる はに しまって にいる	内容 ている 「②寝観的値を比の 「③現況値を 」 (3現況値を	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ	存から構成される我孫子市地域 可ルート等の検討を行っている 内容 つて、CO2の削減に貢献してい	<その他の内容> 実施した参加・協働が 参加・協働が	考えられる場合 対応した具体的な 達成率(%)	ではその内容) で内容 〇①目標値達成 〇②目標値未達成	○②当初 ○③当初の <期待した ○①想定。 ○②想定。 <想定どお	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 環境 どおりでなかった りでなかった原	由/期待以下		○
・協働の工夫環境への配慮にかった。	いるか? (り) 記慮して事業を進めて	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実実運営所に ○③命可民の共 ●⑤の表の他 <その他の内容> □①自然環境を生みでは □②生手環境の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 210,158	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りりに市民の参参画有りいた。 市民の参を連携といる。 配慮の視点を対している。 はいている。 はいている。 はいですが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	内容 ている (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i) (i	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 目標値の妥当性のチェック ータ・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策	学から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 って、CO2の削減に貢献してい ク	<その他の内容> 実施した参加・協働が 参加・協働が	表えられる場合	ではその内容) で内容 〇①目標値達成 〇②目標値未達成	○②当初の ○③当初の <期待した ○①想定定 <想定どお	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 ばおりでなかった りでなかった原 となった原因〉	由/期待以下 への配慮 こ 因>	であった原因>	○
・協働の工夫 環境への配慮 (1)目標:	いるか? (り) 記慮して事業を進めて	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実実運営所に ○③命門民のと ●⑤の表の他 <その他の内容> □①自然環境を生みでは □②生手環境の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 210,158	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りり に市民の参参連携 に市民の動と実施 配慮の視点 といる。 を対している。 まかしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。 まがしている。	内容 ている 「「できている」 「できている」	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む公共交通を推進することによっる。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定しているべ実現性が乏しい値ではない対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 □⑤PFの対応 □⑥受益	存から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 のて、CO2の削減に貢献してい ク る目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	マその他の内容> 実施した参加・協働が 参加・協働が 達成 実績値(f)(人)	表えられる場合	(C)	○②当初初 ○③当初初 <期待した ○①想定定 <想定とお	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 選ば どおりでなかった りでなかった原 となった原因〉	由/期待以下 への配慮 と 因> 養の削減対策	であった原因>	○
・協働の工夫環境への配慮 環境への配慮 (1) 目標語	にいるか? (くり) 思慮して事業を進めて 設定は適切か?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実連連当的 ●⑤市民のとしての。その他 ○では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りり に市民の参参画有りり に市民の参参連携 配慮の視点 を対している はしている はしている はし貢献している は、「貢献している は、「両が、「大」の 215,000	カ容 ている ■①客観的なないない。 ■②の表現況にはない。 ■②の表現のではいれば、 ■②の表現のではいれば、 ■ののではいれば、 ■のののでは、 ■ののでは、 ■の	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む公共交通を推進することによっる。 日標値の妥当性のチェックで実現性が乏しい値ではない差がからい値ではないが対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策	存から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 のて、CO2の削減に貢献してい ク る目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	< その他の内容> 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円)	表えられる場合 だ施した具体的な 達成率(%) (f/b×100) 犬況 対事業費(%)	(C)	○②当初初 ○③当初初 <期待した ○①想定定 <想定とお	明待した以上 明待したとおり D 期待以下 以上となった理 選ば どばおりでなかった りでなかった原 となった原因〉 事業 〇①事前の想:	由/期待以下 への配慮 こ 因> 養の削減対策 定どおりでな	であった原因>	○
・ A a 動の工夫 環境 / O D 記慮 できてい できない できない できない できない できない できない できない できな	にいるか? (くり) 思慮して事業を進めて 設定は適切か?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実連連当的 ●⑤市民のとしての。その他 ○では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	図られる 参加・協働のが に市民のの参画有りり に市民の参参連携しているで事業を定している。 はしている。 はしている。 はしている。 はしている。 はに貢献している。 はに貢献している。 はに「一ないる。 はに「一ないる。 はに「一ないる。 はに「一ないる。 はに「一ないる。 はに「一ないる。 はに「一ないる。	内容 ている ■①客観観的なよいで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む公共交通を推進することによっる。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定しているべ実現性が乏しい値ではない対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 □⑤PFの対応 □⑥受益	存から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 のて、CO2の削減に貢献してい ク る目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	< その他の内容> 実施した参加・協働が 参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実施	表えられる場合 だ施した具体的な 達成率(%) (f/b×100) 犬況 対事業費(%)	(C)	○②当初初 ○③当初初 <期待した ○①想定定 <想定とお	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 選ば ばおりでなかった りでなかった原 となった原因> をなった原因> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由/期待以下 への配慮 こ 因> 養の削減対策 定どおりでな	であった原因>	O 不要 O 不要 O 不要 O 不要
・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目 標語 効 率の多てづい (2) 事いの (2) 事がの (2) 事がの (2) 事がの (2) 事がの (2) 事がの (2) 事がの (3) 事がの (4) 事	にいるか? (くり) 思慮して事業を進めて 設定は適切か?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③事業実連営主所 ○③衛市民のと ●⑤市市民と他 <その他の内容> □①自然環境を共有 □③身環境の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 210,158 対策実施によ 事業費(c)(千円) 58,831 事業費削	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りり に市民の参参画有りり に市民の参参連携 配慮の視点 を対している はしている はしている はし貢献している は、「貢献している は、「両が、「大」の 215,000	カ容 ている ■①客観的なないない。 ■②の表現況にはない。 ■②の表現のではいれば、 ■②の表現のではいれば、 ■ののではいれば、 ■のののでは、 ■ののでは、 ■の	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む公共交通を推進することによっる。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定しているべ実現性が乏しい値ではない対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 □⑤PFの対応 □⑥受益	存から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 のて、CO2の削減に貢献してい ク る目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	< その他の内容> 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円)	表えられる場合 だ施した具体的な 達成率(%) (f/b×100) 犬況 対事業費(%)	(C)	○②当初初 ○③当初初 <期待した ○①想定定 <想定とお	明待した以上 明待したとおり か期待以下 以上となった理 選ば ばおりでなかった りでなかった原 となった原因> をなった原因> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由/期待以下 への配慮 こ 因> 養の削減対策 定どおりでな	であった原因>	○
・協働の工夫 環境への配慮 効 率 性 環心 (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	いるか? くり) 記慮して事業を進めて 設定は適切か? 費削減の工夫をして か?	実現が日本の他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③等理見を連盟主所で ○⑤をの他 ○その他の内容 □①自然環境を共高調理のを表す。 □③等である。 □③を表するでは、 □③ないのでは、 □3のでは、	図られる 参加・協働のが に市民の参参画有りり に市民の参参画有りり に市市民の参参連携しているで事業を定している。 はしている。 はしている。 はしている。 はに貢献している。 は「一円」 へ893 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 でいる 「□②現況況記値とと 「□③現況別値値と比較 「□③現海・県・林・管理・ 「□③規持情要託 「●)の内容 「□④展別内容 「□④展別内容 「□④展別内容	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む公共交通を推進することによっる。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定しているべ実現性が乏しい値ではない対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 □⑤PFの対応 □⑥受益	から構成される我孫子市地域 デルート等の検討を行っている 内容 のて、CO2の削減に貢献してい つきを表現である。 では、CO2の削減に貢献してい である。 では、CO2の削減に貢献してい である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	< その他の内容> 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円)	大況 達成率(%) (f/b×100) 大況 対事業費(%) (g/c)×100	(本)	○②3当初初 (明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因>	○
・協働の工夫 環境への配慮 が 環い (1) 事い 目投 事い 目投 事い (3) 標じ (3) (3)	にいるか? (くり) 思慮して事業を進めて 設定は適切か? 費削減の工夫をして を実現する為に る事業費は適正か?	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③等で民民と他 ●⑤市市民と他 <その他の内容> □①包生手環境を生みでである。 □③管では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	図られる 参加・協働の内に市民の参して市民の参与画有りいた。市市民の参き連携しているで事業をを見せている。 日標値(b)(人) 215,000 よる事業費削減額((千円) △893 川減率(%) 1.54 日標値対事業費(単	内容 でいる 「□②現況況記値とと 「□③現況別値値と比較 「□③現海・県・林・管理・ 「□③規持情要託 「●)の内容 「□④展別内容 「□④展別内容 「□④展別内容	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 ■⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用	を	(その他の内容) 実施した参加・協働が 事業値(f)(人) 実績値(g)(千円) <超過理由等>	表えられる場合 ボル した具体的な 大況 達成率(%) (f/b×100) 大況 対事業費(%) (g/c)×100	(C)	○②3当初初 (明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因> について かった た原因>	○
協働の工夫 環境への配慮 現い (1) (2) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	にいるか? (くり) 思慮して事業を進めて 設定は適切か? 機削減の工夫をして か?	実現が日本の他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③等理見を連盟主所で ○⑤をの他 ○その他の内容 □①自然環境を共高調理のを表す。 □③等である。 □③を表するでは、 □③ないのでは、 □3のでは、	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りり に市市民の参参画有りい られる を連携している においる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる に	カ容 Tいる 「□ ② 寝観的なない。 □ ② 寝辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺辺の。 □ ② 現本特管を託 □ ② 規格 関 □ ③ 推特できまた < 削減の内容〉	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 日標値の妥当性のチェック 一タ・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 ■⑦その 計算方	を	(その他の内容) 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円) <超過理由等)	表えられる場合 施した具体的な 達成率(%) (f/b×100)	(にはその内容) (内容 (内容 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	○②3当初初 (明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因> について かった た原因>	○
・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) (3) (4) (4) (5) (5) (4) (6) (5) (7) (6) (8) (7) (8) (8) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (7) (8) (8) (9) (8) (9) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (1) (4) (1) (5) (1) (6) (1) (7) (1) (8) (1) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (1) (4) (1) (5) (1) (6) (1) (7) (1) (8) (1) (8) (1) (9)	にいるか? (り) と感して事業を進めて と感して事業を進めて と変は適切か? を実現する為に を実現する為に を実現する適正か? を実現する為に を実現する海に を対費用)	実現が □その他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③等で民民と他 ●⑤市市民と他 <その他の内容> □①包生手環境を生みでである。 □③管では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	図られる 参加・協働のグ に市民の参画有りり に市市民の参参画有りい られる を連携している においる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる に	内容 T いる ■ ① 客観観的なよいで 「 ② 現現況はないで 「 ② 現現況はないで 「 ② 現場別は値と比較準 「 ② 現有管軽託	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 ■⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用	を	(その他の内容) 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円) <超過理由等)	表えられる場合 ボル した具体的な 大況 達成率(%) (f/b×100) 大況 対事業費(%) (g/c)×100	(にはその内容) (内容 (内容 (小容 (小容 (小容 (小容 (小容 (小容	○②3当初初 (明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因> について かった た原因>	○
・協働の工夫 環い 電子 で表する であるです。 であるです。 であるです。 であるです。 であるです。 であるです。 であるです。 であるです。 では、できるでするです。 では、できるです。 では、できるです。 では、できるです。 では、できるです。 では、できるです。 では、できるできるです。 では、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	でいるか? は適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適いできままます。 とはできままます。 とはできままます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますますます。 とはできますますます。 とはできますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	実現が口子の他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③衛市民と他 ●⑤市民と他 <その他の内容> □①自然環境を生み前に ③領環境の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 210,158 対策実施によ 事業費(c)(千円) 58,831 事業費作	図られる 参加・協働のが に市民のの参与の に市民のの参参連連 に市民のの参き連連 を	カ容 T いる T いる T いる T いる T いる T の	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 ■⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:目標値−更	を	(その他の内容) 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円) <超過理由等)	表えられる場合 ボル した具体的な 大況 達成率(%) (f/b×100) 大況 対事業費(%) (g/c)×100	(CLはその内容) (C)	○③当期待した ②3当初初 <期待した ○①2 想定定 どお ○○② 想定 どお ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因> について かった た原因>	○
- 協働の工夫 環境への配慮 (1) 車い 電子 (2) 事い 目投目 後 (3) 様じ得 (3) 様じ得 (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	でいるか? は適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適切か? とは適いできままます。 とはできままます。 とはできままます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできまます。 とはできます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますます。 とはできますますます。 とはできますますます。 とはできますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	実現が口子の他 ○①事業計画時に ○②事業計画時に ○③衛市民と他 ●⑤市民と他 <その他の内容> □①自然環境を生み前に ③領環境の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 210,158 対策実施によ 事業費(c)(千円) 58,831 事業費作	図られる 参加・協働のが に市民のの参与の に市民のの参参連連 に市民のの参き連連 を	カ容 T いる ■① 字観的な が ない	市民、公共交通事業者、行政等公共交通協議会で協議し、運行。 取組む 公共交通を推進することによっ る。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している べ実現性が乏しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである 実施予定の対策 制度活用 の対応 の削減策の実施 ■⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値−更	がら構成される我孫子市地域 が小の検討を行っている ので、 (02の削減に貢献してい ので、 (02の削減に貢献してい を目標値(と現況値の差)と 工等民間資本の活用 者負担 他 は は は は は は は は は は は は は	(その他の内容) 実施した参加・協働が 達成 実績値(f)(人) 実績値(g)(千円) <超過理由等)	表えられる場合 ボル した具体的な 大況 達成率(%) (f/b×100) 大況 対事業費(%) (g/c)×100	(CLはその内容) (C)	○②3当初初 (明待した以上 明待した以上 明待したとおり D 期待 以上となった理 選ば いでなかった いでなかった原 となった原因> 事前の想 く想定どおり削	由/期待以下 への配慮 こ 因> 費の削減対策 定どおりてなかっ	であった原因> について かった た原因>	○